

# NPO法人コンカリーニョ 2018年度事業報告

## 1. 事業の成果

職員数減となった今年度ではあるが、業務改善・システムの整備を行い、アルバイトさんの力も活用しつつ、少ない人員で、これまでのサービスレベルを保つことができた。いかに収益を確保するか、工夫し、パトスを中心に達成することができたが、一方、自主企画での集客次第での赤字が理事会で問題となった。あけばるので培ったノウハウを本拠地である琴似八軒地域で活かすべく、「場」を通じて、地域とコミットしていくコミュニティ拠点を模索するため、琴似商店街青年部の活動に積極的にコミットした。

### <2018年度トピック>

- ・パトスを本部コントロールの下、アルバイトさん主体で回せるようになった。
- ・クラウド返礼芝居「オールド・ブラック・ジョー」成功
- ・自主企画の収支に関する責任所在の明確化

### 【2018年度の活動で協賛、助成等ご支援を受けた団体】

(公財) 北海道文化財団、地域商店等 27件

## 2. 事業の実施に関わる事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### I. 施設運営事業 事業費 38,386千円

##### A) 生活支援型文化施設コンカリーニョ

2017年度の取組を基に「コンカリーニョ人気劇場になる」3か年計画の2年目として、次年度の目標最終年度につなげるべく、以下の取組を行い、成果も見えつつある。収益目標も見事にクリアできた。

- ・仮予約→予約金入金（本予約）→利用の基本的な予約ルールが徹底された。
- ・利用案内の一新
- ・コンカリーニョ美化活動継続
- ・HPに過去の劇場使用例の写真を掲載し、様々な使い方ができるなどをわかりやすく提示。
- ・宣伝・広報活動の強化 チケットコンカリーニョは、予定した頻度（2ヶ月に1回）では発行できなかつたが、SNSの活用により、反応のあった売込プランもあった。劇場パンフレットの再作成は、未検討に終わった。

前年度比		
利用率	72.8%	10.8%増
プログラム数	66本	2本増
総利用者数	22,979人	0.7%増
事業費	12,905千円	8.8%減

##### B) ターミナルプラザことにパトス

パトスを本部管理とし、コンカリーニョとの有効な一体管理を目指しつつ、収益をキープすることに注力した1年。職員の尽力、アルバイトさんの努力もあり、じゅうぶんに目標を達成し、収益率のアップにもつながった。既存の利用者さんとのコミュニケーションもつながり、とれたものと思われる。

ホール稼働率	56.2%	3.4%減
プログラム数	127本	6本増
総利用者数	21,868名	8.3%増
事業費	6,748千円	18.0%減

### C) あけぼのアート&コミュニティセンター

#### 第3期管理運営期間の2年目

定期利用の拡充、入居団体、地域による利用の活性化を目指した。貸室全体の稼働率は過去3年より上昇し、前年度までの横ばい状態を脱した。体育館の稼働率が落ちたものの、中ホール、音楽室が活発に動いた。

中ホール、音楽室は、入居団体による定期利用が更に増え、昨年度の60%超え達成に加え、音楽室は72.2%となった。また交流室は、ここ2年の減少傾向への打開策として、「調理の出来る会合、催しの空間」をアピールした結果、調理の他、講座、セミナー、ゲーム大会など利用も多様化し、目標の25%を越えることができた。

その一方体育館は、定期利用団体の練習場の事情など外的要因も加わり、ここ2年70%台に稼働が減少し、特に夏期間の利用をいかに増やすかなど、あらたな検討、対策を要する。その中で「地域開放タイム」は前年度より更に活性した。

長期貸室は、12団体が入居し、2つの空き室利用も活性化し、特に新規劇団の短期入居が目立った。

「地域とアートの連携事業」は、入居団体との協働により3つのイベント事業を実施、「あけぼの学校祭」は、地域の親子連れの来館などで盛況だった。また地域交流事業では、「みんなでつくろう！キッズ・ウォールアート」で、地域の子ども達の要望に添い「プラバン」を実施、学校祭で多数参加が得られた。

※9月6日（木）発生、胆振東部地震災害では、地域の一時避難所として対応した。

前年度比		
利用率(長期)	95.7%	0.5%増
(一般貸室)	56.4%	3.4%増
総利用者数	51,564人	3.8%増
事業費	18,744千円	1.8%減

#### 主な事業

7月7日～8日	あけぼの学校祭	731名
8月5日	サマーフェスティバル (あけぼのヨサコイ演舞隊)	1,500名
12月9日	あけぼの de クリスマス会	72名
6月29日～30日	あけぼの学校祭	600名
みんなでつくろう！キッズ・ウォール・アート	4/8、15、29 5/3、19、27 6/7、10 7/8、26 8/2	15名 33名 13名 30名 4名
通年	○あけぼのファーム活動 2団体、13個人登録 ○図書ボランティア 9名登録、総利用登録 273名 蔵書3,142冊、年間貸出書籍数 472冊、総利用者数 778名	

○入居者会議 奇数月第2火曜日と第2水曜日 交互に（6回）臨時入居者会議（1回）

○地域連絡協議会 2回（10月12日、4月23日）

○曙通信発行 曙まちづくりセンターと共同編集、連合町内会で回覧4回（8月、11月、2月、5月）

## II. 企画事業

事業費 9,345 千円、総来場者数 7,848 名

7月 14 日	コンカリーニョ迷宮の夏祭り 「探偵 vs 大泥棒」	300 名
7月 15 日	ハシモトコウ納涼アワー	1st 263 名
7月 28 日～8月 4 日	札幌演劇シーズン 2018 夏 劇団風蝕異人街 「トロイアの女たち」	8st 964 名
8月 25 日・26 日	クラウド返礼 「オールド・ブラック・ジョー」 脚本：渡辺たけし、演出：斎藤ちず、音楽監修：橋本幸	2st 310 名
9月 20 日～22 日	Sampling2 「THE CAULIFLOWERS」 作：深浦佑太、演出：イトウワカナ プロデューサー・出演：藤谷真由美	5st 507 名
10月 21 日	Flook JAPAN TOUR2018 in SAPPORO (共催)	1st 120 名
11月 3 日・4 日	空宇宙地 (名古屋) 「轟音、つぶやくよう うたう、うたう彼女は」 (共催)	2st 162 名
12月 14 日～16 日	Sapporo Dance Collective 第1作品 「HOME」 構成・演出：羊屋白玉、プロデューサー：斎藤ちず	3st 348 名
1月 5 日	コンカリーニョ餅つき大会	38 名
1月 13 日	ハシモトコウ新春アワー	1st 322 名
1月 19 日	星絢ロケッターズ (松山・高知) 「A i r 5」 (共催)	1st 88 名
2月 2 日～9 日	札幌演劇シーズン 2019 冬 y h s 「白浪っ！」	8st 1,009 名
2月 18 日～25 日	札幌演劇シーズン 2019 冬 大人 vs 中高生 「親の顔が見たい」 作：畠澤聖悟 演出：納谷真大、イトウワカナ プロデューサー：斎藤ちず	17st 2,014 名
3月 23 日・24 日	彗星マジック (大阪) 「ポストグラフ」 (共催)	3st 150 名
4月 11 日～13 日	第13回生活大骨董市	3 日間 500 名
4月 29 日	昭和レディ・彘 (共催)	2st 320 名
6月 22 日・23 日	第12回温故知新音楽劇 「新・オシャレな果実」 脚本：渡辺たけし、演出：斎藤ちず、音楽：橋本幸	4st 433 名

主催事業 9 本、参画実行委員会主催 3 本、提携共催 6 本

## III. 出前派遣事業

事業費 4,964 千円

- 技術制作派遣 北海道文化財団舞台芸術情報フェア制作
- 講師派遣 コミュニケーション教育事業 (篠路中)
- コーディネート事業 チカチカ☆パフォーマンススポット
- 琴似青年部ファシリテーター

## IV. 共通事業 【①⑬】

- 会員郵送(150 部\*3回)

- メルマガ発行 (月 1～2 回 689 名\*13回)

- 内部ミーティング

役員会：定例奇数月第2月曜日 19:00～ 5回 (7月、11月、12月末、3月、5月)

スタッフ MTG 月1回 11回

各セクション MTG 月1～2回随時

(2) その他の事業 該当なし